

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 3年 3月 1日

事業所名: サポートステーション みつばちパーク

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		活動内容によって、園庭や放デイ室等を活用し、活動スペースを広げています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		職員数においては配置基準を十分に満たし、看護師も配置しています。	さらに職員一人一人のスキルアップと、職員間の連携を強化していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		視覚支援により、子どもたちが活動内容やスケジュール、場所などを理解しやすいよう努めています。	設備上解消できない段差については、簡易スロープ等を活用し対応します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		活動終了後は、使用したスペースや玩具などを毎回清掃消毒し、清潔と感染症対策に努めています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎日のミーティングの際、計画や振り返りなどを行い、改善点の検討や情報共有に努めています。	常勤非常勤に関わらず、すべての職員で参画し、業務改善に努めます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		送迎時や面談等でいただく保護者からのご意見やアンケートを踏まえ業務改善に努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		毎年、自己評価アンケートを実施し、結果についてはホームページに公開すると共に、保護者へ文書配布しています。	保護者の方々や職員の意見要望を吸い上げ、より質の高い支援と業務が遂行できるよう努めます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		第三者評価は受けていませんが、他事業所との情報交換や消防点検などを受け業務改善に努めています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部講師を招いた職員研修を定期的に行い、各種オンデマンド研修等にも参加しています。	研修受講者は、研修報告を作成し職員全員に周知することで全体の資質向上に努めています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		定期的にモニタリングやアセスメントを行い、保護者の意向と課題を聞き取りその内容を踏まえうえて計画に反映し作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		独自のアセスメントや円城寺式を取り入れています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		相談支援事業所の計画や保護者からの聞き取りを基に、課題やニーズを取りまとめ、必要な支援項目を検討し設定しています。	お子さまが地域で安心して生活できるよう、家庭での様子を把握し関係機関との連携を図り「家族支援・地域支援」にも力を入れていきたいと思います。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画に沿った支援を行っています。毎日のミーティングの際、計画や振り返りなどを行い、ケース会議にて改善点の検討や情報共有に努めています。	お子さまのいつもと違う様子や保護者からの困りごとなどがあった場合は、その都度支援方法を検討し次の支援に生かせるようにしていきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		計画リーダーを中心に、職員全員で活動内容の検討や準備を行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		年間を通して、季節にあわせた活動やあらゆる体験ができるよう、活動内容を工夫しています。	コロナ禍で活動内容が制限される部分もありますが、お子さまが楽しみながら「できた」達成感を味わえるような活動内容を工夫していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		お子さまの特性に合わせて、マンツーマンでの対応や専門職による個別活動を取り入れています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		リーダーを中心に、支援の内容や流れを話し合い、担当するお子さまの課題や目的を確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		ミーティングを行い、活動の振り返りや改善点など話し合い、次回の活動に生かせるよう情報共有に努めています。	ミーティングに参加できなかった職員にも必ず情報伝達し、すべての職員が共通理解できるよう努めます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日、療育日誌や個人記録を記入し、支援に関する記録を残すとともに次回への活動や情報共有に生かしています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的なケース会議や保護者からの聞き取りなどを行い、支援内容の検討を行っています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		主に児童発達支援管理責任者が参加し、お子さまの特性に合わせて保育士や看護師が同席することもあります。	おこさまに関わるすべての関係機関が揃って担当者会議が行えるよう、日頃から関係機関との連携を図っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保健センターとの情報共有や発達相談会、地域支援者会議などへ参加し関係機関との連携を図っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		看護師を配置し、お子さまの既往歴や投薬状況、緊急時の対応などを把握し、並行通園先との連携など行っています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		主に保護者を通じて主治医や専門職と連携を図り、緊急時の対応や活動内容の意見交換など行っています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育所や幼稚園の先生方と密に連絡を取り合い、双方訪問するなどしてお子さまの情報共有を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		お子さまの就学時には、移行支援シートを作成し保護者の同意のもと就学先への情報提供を行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		他事業所の公開保育に参加し、参加事業所との活動内容検討や意見交換を行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		法人内の保育園と合同で活動する行事やイベントがありますが、コロナ禍で開催できていません。落ち着いたら交流の機会を増やして行きたいと思っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	地域の子育て支援ネットワーク会議などへ参加しています。	協議会子ども部会などへの参加もしていきたいと思っています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に保護者へ直接振り返りを行ったり、連絡帳を利用するなどしてお伝えしています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		ペアレントプログラムなどの研修へ積極的に参加し、保護者の皆様にも還元できるような情報提供し呼びかけていきたいと思っています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		見学や契約の際に詳しく説明しています。また玄関にも掲示し、いつでも確認頂けるようにしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		作成した個別支援計画の内容や課題などを保護者へ説明し、同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的に面談時間を設けており、それ以外にもいつでも相談を受けられるようにしています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会や茶話会を企画し、保護者同士や職員と楽しく交流できる場を設けています。	今年はコロナ禍で、すべて中止いたしました。情勢が落ち着きましたら、保護者会、茶話会、OB交流会など楽しい企画をご案内できるよう準備いたします。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情相談窓口、解決責任者を選任し、迅速に対応できるように、定期的におたよりにも掲載しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月おたよりを発行し、行事計画や活動予定、事業所からのお知らせを発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報の取り扱いについては、契約時にご説明し同意を得たうえで管理運用しております。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子さまとのコミュニケーション手段としては、絵カードや写真を利用した視覚支援を活用しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	毎年、夏祭りや絵本読み聞かせ会、ブックカフェなどイベントを開催し、地域の方にもお声掛けし交流の場を設けています。	今年はコロナ禍で、すべて中止いたしました。情勢が落ち着きましたら、夏祭りや秋祭りなど楽しい企画をご案内できるよう準備いたします。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種マニュアルを策定し、職員に周知しています。感染症対策については、法人の判断基準などその都度保護者にも文書でお伝えしています。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		消防署との非常災害訓練や自主避難訓練、消防設備点検などを定期的に行っています。	あらゆる災害などに対応できるよう、日常から危機管理していきたいと思ひます。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		看護師が中心となり、お子さまの既往歴や投薬状況、発作等の緊急時の対応などを把握しています。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在アレルギーのあるお子さまについては、保護者のご協力によりお弁当持参でご利用いただいています。	委託している給食業者のアレルギー対応食の状況について、内容や金額を説明したうえで、保護者に検討選択して頂いています。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットが発生した際は、当事者が報告書を作成し、職員間で再発防止・対応策を検討し共有しています。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		権利擁護、虐待防止などの研修に参加し、職員間で研修内容の共有を図っています。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		契約の際、十分に説明し承諾を得た上で同意書を作成しています。	個別支援計画には記載していませんが、同意書を作成しやむを得ず必要な場合は統一した対応ができるよう、職員間で周知していきます。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。